



# 3 クラスだより



## いちご組 (0歳児)

春を感じさせる暖かい風が吹くと、子ども達が入園した頃が思い出されます。心配そうな表情を時折見せながらも、抱っこをすると小さな手でぎゅっとしがみついてくれたことや、午後の穏やかな時間の散歩中、差し出された花を不思議そうに握っていたこと。途中入園の友だちは、まるで4月からの仲間のようにすぐに馴染んで、楽しそうにあちこち探検していたこと。どれもみんな、思い出す度に心がほんわかする大切な思い出です。子ども達は日々新しい発見をして、そばにいる大人に伝えてくれます。少し離れていても振り向いて目を合わせてくれるのです。「びっくりしたよね」「いいもの見つけたね」そう共感しながら一人ひとりと仲良くなり、またその瞬間がとても幸せでした。

可愛い4人の子ども達と一緒に見守り応援して頂きありがとうございました。あと1ヶ月よろしくお願ひします。(正田)



## さくら組 (1歳児)

自分の事で精一杯だった子ども達が今では友達存在を意識して積極的に関わり合いを求めようになりました。朝の登園時には(また会えたね)と言わんばかりにハグをしたり、お出迎えをして顔や頬を撫でたりしている姿は何とも微笑ましいです。日中も「いっしょだね」「おんなじ」などと声をかけ繋がる事の喜びを、ことある事に噛みしめている様子です。そんな姿をみていると、毎日新鮮な思いで顔を合わせている子ども達の心がとても素敵に思えてなりません。当たり前のようにだけども、元気に顔を合わせられることは奇跡に近いものですね。外の世界でも人との繋がり感や安心感の土台が築かれ、それぞれが安心して自由に自分らしさを発揮していけたら良いです。また、繋がり合える心地よさを喜び、たくさんあじわいながらこれからも過ごして欲しいと思います。一年間、たくさんのご理解、ご協力をありがとうございました。(武井)



## ちゅうりっぷ組 (2歳児)

少しずつですが、暖かくなってきて窓際で気持ちよさそうに日向ぼっこをする子どもの姿が見られる様になりました。散歩でも数は少ないですが、虫や草花が見られ、子どもたちが日々大発見をして楽しんでいます。また、ばら組やもも組とリズムを通してふれあう機会が多くあり、お兄さん、お姉さん達の速い動きや上手にリズムに乗っている姿を見て、とても良い刺激を受けたのか、リズム以外の遊びの時間に曲を弾いても自然に身体が動き、近くで聞いていた他のクラスの子も達も一緒に即興リズムが始まるくらい日々楽しんでおります。

2月中旬から、3点セットを持って来ていただいています。愛着のあるスプーンやフォークで食べられることにとっても喜んでいて、用意する時、とてもウキウキした姿が見られました。

今年度も最後の月となりました。来月には、もも組ですね。残り一か月の日々を楽しく過ごしたいと思ひます。

一年間ご理解とご協力ありがとうございました。(石井)



## もも組 (3歳児)

天気予報に雪マークがついた日。「ゆき、ふってる!」と、話しながら登園する子どもたちの瞳はきらきらと輝いていました。外に行くと、雪の上を走り回ったり、手で触って「冷たい」と感じたり、お団子みたいに丸めて雪合戦を楽しんでいました。手が真っ赤になるくらい全力で遊んでいました。新しい集団遊びに挑戦してみました!「むっくりくまさん」「あぶくたつた」「お引越しゲーム」どれも初めてでしたがルールを覚えるのが早かったです。「あぶくたつた」では「トントントン」「なんの音?」の掛け合いが楽しいのか、そのフレーズだけをひたすら子ども達同士で言っていたのが見ていて面白かったです。鍋の製作では、ハサミで具材を切ると椎茸が難しく小さくならりもりましたが、頑張って切ることができていました。豆腐の焼き目では、「うまく書けないよ」「こんな感じかな?」と話ながら描いていました。美味しそうな鍋が出来上がりましたね。一年間ご理解ご協力ありがとうございました。(今井)



## ばら組 (4歳児)

ポカポカと暖かい日が増え春がもう少しです。暖かいと「裸足になっていい?」と目を輝かせ聞いてきます。裸足が大好きな子ども達は春が待ちきれない様子です。さて、卒園や進級が間近になりました。卒園児へのプレゼント製作の時に子ども達からゆり組の子の名前が沢山出てきたことに驚きました。「〇〇ちゃんがかっこいい」「〇〇ちゃん足が速いよね」と憧れの気持ちですね。卒園が寂しい気持ちと自分たちがゆり組になる期待と複雑かと思ひますが沢山の感情を経験してほしいです。二月に入った頃、新しいグループの名前を決める相談をしました。すると、そのグループでは候補が二つ。中々決まらずにいましたが、最後は皆が笑顔で「ユニコーン恐竜!」と二つの意見を合わせました。自分の意見を主張しながら友達の意見も取り入れ、皆が納得。その笑顔に成長を感じ嬉しくなりました。一年間ご迷惑をお掛けしたこともあったと思ひますがご理解ご協力頂きありがとうございました。(滋野)



## ゆり組 (5歳児)

暖かな陽の光が子どもたちの笑顔を優しく包み込む季節がやってきました。心待ちにしている春とともにゆり組15名は成長して巣立っていきます。4月、ゆり組に進級したときは年長になった嬉しさや、ドキドキ緊張していた表情が昨日のこのように思い出されます。さまざまな行事では全力を出しきり、成功体験を積むことが出来ました。あっという間の一年間でした。担任として子どもたちの胸の中にはどんな思いが残っているのかな?毎日楽しく保育園生活が送れたかな?と思ったりしています...子どもたちは友達や保育者、時には自然のものからいろいろなことを吸収し、考えたり、助けをもらったりしながら一歩一歩みんなで歩んできました。15名の子どもたちを胸をはって堂々と小学校に送り出すことができること、嬉しく思ひます。保護者の皆様、これまでたくさんのご協力本当にありがとうございました。(月足)